

～学びと育ちの連続性～

浦幌小中一貫CS便り

平成31年4月26日 (NO.119)



浦幌町教育委員会

浦幌町教育研究所

小中一貫CS推進の重点

■これからの社会は、AIやビッグデータ等の先端技術の高度化に伴って社会構造等が大きく変わり、「Society 5.0」の到来を見据えた人材育成が求められています。

浦幌町では、第2期教育振興基本計画を策定し、社会の変化に主体的に向き合いながら未来を拓いていく力を身に付けるために、「自立」と「協働」の教育理念を掲げ、次の2点から平成31年度小中一貫CSを推進していきます。

1. 「つなぐ」活動の推進

学校運営協議会は、学校と家庭・地域が「熟議」を通してビジョンや課題、情報等を共有し、相互に連携・協働して地域とともにある学校づくりを目指します。今年度はさらに社会教育をフィールドとした「地域学校協働本部」と両輪となって、地域総ぐるみの教育を進めます。

そのためには、学園小中一貫CS委員会や地域学校協働本部、NPO うらほろスタイルサポート、関係団体等が相互に「つなぐ」活動を広げていく必要があります。「つなぐ」活動は、防災教育や福祉教育などプラスαの活動に広がり、地域総ぐるみで確かな成果をあげていくことが期待されます。

また、小中一貫CS推進協議会の3部会(学習指導部、生徒指導部、うらスタ部)と連動した校務分掌組織や学推会組織の構成、学園小中一貫CS評価委員会の評価項目と一本化した学校評価を構想し実践していく必要があります。

2. 「スマホ・ゲーム機使用のルール」に基づいた実践の継続

引き続きアクションプランに基づいた学園・学校評価を生かし、「スマホ・ゲーム機使用のルール」宣言をもとに、「基本的な生活習慣及び家庭学習の定着と学力・体力の向上」に重点を置いた取組を継続し深掘りしていきます。

「誰かが何とかしてくれる」という時代ではありません。

町民一人一人が当事者意識を持って、子どもたちを育てる持続可能な仕組みづくりを進めながら、CSを基盤とした小中一貫教育の取り組みを力強く推進していきます。

